

平成28年度インターンシップ実習報告書

実習先:三井造船株式会社

学籍番号:T161B026

学科学年:知能機械創製理工学教育プログラム 修士1年

氏名:小林裕貴

■インターンシップへの参加目的

インターンシップに参加した主な目的は、社会人として会社で働くこととはどのようなことなのかを学びたかったためです。具体的には、仕事のやりがい、大変さおよび社会人としての責任感を社員さんと話すことで学びたかったためです。また、会社の雰囲気など説明会では伝えられないことを実際の現場に入ることによって学びたかったためです。

■受入企業選定理由

私は、エンジンに興味があり、会社ではどのようにエンジンの研究、設計、組み立てなどを行っているか実際に自分の目で見て体験したかったためです。また、私は、自動車やバイクのエンジンしか知らなかったため、船舶のエンジンの仕組みや造船業界の動向を知るために三井造船のインターンシップは、良い機会であり、三井造船のインターンシップを通して得たことを今後の私の進路に活かせたら良いと思ったためです。

■得られた成果

説明会などでは人事の方と話すので会社の長所がわかりますが、短所はわかりません。しかし、インターンシップに参加することにより多くの社員さんと話すことで長所や短所を得ることができました。

特に良いと思ったことは、インターンシップに参加することでものづくりがどのように行われているかを一貫してみる事ができたことでした。また、私が興味をもっている設計の部署は実際に何が行われているかを知れたことも良い経験になりました。

■実習を通じて感じたこと

三井造船は、穏やかな社風であり、自分の考えていた会社像とはギャップがあり驚きました。また、会社内でも忙しい部署や忙しくない部署、忙しい時期や忙しくない時期があることを知りました。

設計の部署は、お客様の要望を聞いたり、部品の強度計算をしたり、機械加工をする方と話すので仕事が多様であり大変ですがやりがいを感じられると思いました。

■後輩へのアドバイス

インターンシップを経験することで説明会や工場見学では伝わらないことや伝えられないことを得ることができます。学生のときは、時間があるので様々なことに挑戦し、経験することができます。私は、経験することは特に重要なことだと考えていますので、後輩のみなさんには多くの経験を積んでほしいです。また、広い視野を持ち、自分のやりたいことを早めに見つけ、自分の志望する会社のインターンシップに行くべきだと考えております。

■最後に

三井造船は、取引先や部署間で仲が良いことを知りました。これは、コミュニケーションを円滑にし、仕事を楽しむためにもとても大切なことだと思いました。また、ものづくりをするときに上流側から下流側に対して、お客様という考え方があります。これは、品質や納期を保証するためであり、とても重要なことであると思いました。

このように、インターンシップに参加することで多くのことを得ることができました。皆様もインターンシップに参

加してみてもいいでしょうか。

具体的な実習内容を記入してください

8月23日(火) 会社紹介

8月24日(水) ディーゼル詳細設計グループ業務説明
ディーゼル機関構造説明

8月25日(木) 新機種 S90ME-C の見学
会議に参加
3DCAD および JT 全体モデル操作

8月26日(金) 台板, 架構の機械加工工場見学
基本設計グループ業務説明

8月29日(月) 精電社訪問
シリンダ注油についての説明

8月30日(火) 宮原製作所訪問
シリンダ注油の計測データのまとめ

8月31日(水) 台板, 架構の溶接工場見学
シリンダ注油の計測データの解釈, 解析

9月1日(木) 進水式見学
シリンダ注油の計測データの発表

9月2日(金) レポート作成, 全体発表